

令和7年度

病害虫発生予察特殊報(第1号)

令和8年3月23日
神奈川県農業技術センター

病害ウイルス名：キク茎えそウイルス Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV)

作物名：シネラリア

1 発生経過

- (1) 令和7年10月、県内のシネラリア栽培施設で、本葉にえそ斑が発生する株が発見された。
- (2) 当所生産環境部において、RT-PCR法によって増幅したDNA断片の塩基配列解析から、Chrysanthemum stem necrosis virus (CSNV)に感染していることが確認された。
- (3) 県内でのCSNVによる病害は、トマトおよびジニアで報告されているが、シネラリアでの発生確認は初めてである。

2 病徴および生態

- (1) 葉に奇形、えそ・退緑の症状を生じる(図1～3)。生長点付近が委縮し、生育が著しく抑制される(図3)。
- (2) 本病原ウイルスはミカンキイロアザミウマにより媒介される。媒介は永続的だが、経卵伝染、土壌伝染、種子伝染や汁液伝染(管理作業時にハサミや手指等に付着した汁液を介しての伝染)はしないと考えられている。
- (3) 本ウイルスによる病害はトマト、ミニトマト、ピーマン、キク、シクラメン、トルコギキョウ、アスターなどで報告されている。

3 防除対策

- (1) 発病株は抜き取り、土中に埋却するなど適切に処分する。
- (2) 施設栽培では、ミカンキイロアザミウマの施設外からの侵入を防ぐため、目合い0.4mmの防虫ネットを開口部に展張する。
- (3) 媒介するミカンキイロアザミウマの防除を育苗期から徹底する。
- (4) 施設内外の雑草は、アザミウマ類の発生・増殖源になるため、除草を徹底する。
- (5) 栽培終了後は、施設を密閉して蒸しこみ、保毒虫を死滅させる。



図1 葉に生じたえそ症状①



図2 葉に生じたえそ症状②



図3 退緑を伴った葉の萎縮症状

病害虫防除部 TEL 0463-58-0333

ホームページ

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>

○農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。